

回 覧

平成 21 年度高尾台町会

平成 21 年度高尾台町会防災訓練（図上訓練）の報告

日 時：平成 21 年 10 月 25 日(土)15 時－16 時 30 分

場 所：高尾台町会会館 1 階ホール

参加者：役員・班長 25 名

指導者：中央消防署 3 名、富樫分団 3 名

内容

1. 図上訓練の目的について

近年は能登半島地震をはじめとして、頻繁に発生する地震や浅野川水害の経験から、行政の救護支援を待つだけでなく、地域における自主防災活動の必要性を強く感じます。

本町会は過去にも防災訓練行ってきましたが、今回はまず行政や自主防災本部が地域の実情を正確に把握し、迅速な対応ができる資料となるような防災マップを作成し、併せて町会各員が相互扶助により地域のきずなを深めることを目的としました。

2. 内容



参加者が各丁目ごとに3班に分かれ、それぞれの住宅地図を覆った透明シートの上から、消防署の指導に従いマーカーで利用できる施設や危ない施設を色ごとに書き加えました。

地図上ではわからない一部車両進入不可などの道を改めて知ったり、避難場所として使えるような田畑が知らぬ間に宅地に変わっていたり、住宅地図上だけでは読めない情報を交換しました。

また施設だけでなく医者のほか公務員、消防署員など非常時に頼れる人や、老人等の介護必要な人宅を色別で囲みましたが、詳しくはわか

りませんでした。コミュニティー内での相互扶助と個人情報の管理について改めて考えさせられました。

3. 今後の訓練予定

今回は役員・班長など一部の参加でしたが、今後は班単位の図上訓練や安否確認訓練など町会末端まで広めたいと思っています。

4. 最後に消防局から



「災害が発生してから、消防局職員が現場へ到着するまでには時間を要します。その間の皆さんによる防災活動が安全確保に欠かせない条件です。」